

平成 23 年度 大学職員情報化研修講習会～応用コース～

平成 23 年 11 月 9 日(水)～11 月 11 日(金)

第 1 分科会 第 2 グループ討議内容

【検討のテーマ】

「充実した 4 年間を送るための学生カルテ・ポートフォリオの活用」

【目的の明確化】

「ポートフォリオ」や「学生カルテ」などで学生情報を活用している理想の姿、あるべき姿を挙げ、目的・課題を検討した。これらのすべてについて、学生・教職員がポートフォリオを利用するための動機づけ、サポート体制が必要である。

あるべき姿(理想像)	目的	課題
①学生情報の共有化 ・学生情報の一元化 ・学生情報の教職員連絡ツールとして ・面談記録を残すことにより、学生の状況に応じた指導を行う。	・履修、成績、学籍、奨学金情報等を載せることにより、学生個々の対応をスムーズにする。 ・窓口業務の充実のため。	・個人情報の取扱い(公開範囲の設定) ・学生カルテの記載方法にルールを設ける。
あるべき姿(理想像)	目的	
②キャリア支援 ・履修状況に合わせたキャリア指導。 ・企業へのエントリーシートに添付出来るようにする。	・面談記録をキャリア支援につなげる。 ・現在の学びと将来を結びつけるための履修指導や、動機づけ。	
③履修指導の自動化 ・教員免許、学科独自の資格取得のため、ポートフォリオ上で履修指導を行う。	・学生の履修、単位修得状況に応じた履修指導を行うため。	
④単位不良者のケア ・出席・成績情報を通知することにより、単位不良者を早期に指導する。	・学生の学修意欲の向上。 ・退学者の減少、卒業率の向上。	
⑤ツールの有効活用 ・ipad やスマートフォンを学生配付する。 ・情報の有効利用について学ぶ機会を設ける。 ・ポートフォリオを学生に能動的に利用する。 ・ポートフォリオの学外への公開	・受験生に対して、大学としてどのような指導をしているのか明記。 ・ゲスト I D でポートフォリオのサンプル画像を見ることが出来る。 ・在学生向けにもモチベーションを向上させるために、相互評価が出来るようにする。	

【実現案の検討】

学生情報の共有はすべての理想像において、必要な要素である。また、目的の明確化で検討したグループについて整理し、3つの項目について具体的な実現案を検討した。

☆ 前提

(学生情報の共有)

- ・ 情報公開範囲は守秘義務に配慮し、教員を含め、部署を越えたものとする。
- ・ 先入観にとらわれないために、各記録はフォーマットに基づいたものとする。
- ・ 入力方法における研修と、マニュアルの作成。
- ・ 記録を管理する部署および、個人情報保護委員会で、各記録の検証を定期的に行う。

☆ 実現案一覧

1. 学生カルテ・ポートフォリオを利用したキャリア支援の充実

- ・ 面談シートの作成…面談記録を蓄積することにより、継続的な指導ができるようにする。
- ・ 履修モデルの作成・見直し…学部・学科で考えられるキャリア形成に必要とされる履修モデルを教職協働で作成する。

2. 単位不良者のケア

- ・ ポータルサイトによる情報発信…保証人に対して出欠状況の連絡、学生に対して欠席の多い授業科目の自動配信を行う。
- ・ 保証人への情報開示…保証人用のポータルサイトを構築し、学生の成績状況を開示する。
- ・ 上記に伴い、教職員又は学生（メンター）による保護者面談、学生面談を随時実施する。

3. ポートフォリオの外部公開

- ・ 先輩、在学生、成績優秀者、有名企業就業者のポートフォリオの公開。
- ・ 特色（学科、地域密着など）のある科目についてのポートフォリオの公開。

《第2グループメンバー》

- ・ 京都外国語大学 学生部 給田 佳名子
- ・ 九州女子大学 教務課 十河 功一（討議内容発表）
- ・ 東洋大学 教務部共通教務課 今井 学（討議進行）
- ・ 日本大学 生産工学部教務課 渡部 真大
- ・ 熊本学園大学 教務課 上水 拓哉（相互評価発表）
- ・ 日本システム技術株式会社 上杉 光輝
- ・ 東海大学 教学部湘南教務課 権田 真理（記録）